

IOSCO による、COVID-19 禍の政府支援措置が信用格付に与えた影響に関するレビュー

証券監督者国際機構 (IOSCO) は、本日、COVID-19 関連の政府支援措置 (Government Support Measures、GSM) が、3 大格付会社である Fitch、Moody's 及び S&P (総称して「CRA」) の信用格付に及ぼす影響を分析した報告書を発表しました。

COVID-19 パンデミックに対応して、各国の政府は財政政策、金融政策及び金融規制関連措置を、異例の規模で迅速に展開しました。同時に、パンデミックによって引き起こされた経済と市場の混乱は、多くの信用格付の引き下げにつながり、これにより CRA と信用格付は、規制当局、業界及びメディアからより大きく注目されることとなりました。

[本レビュー](#)は、IOSCO の金融安定エンゲージメントグループ (Financial Stability Engagement Group、FSEG) によって行われ、CRA からの公表情報及び IOSCO メンバーの専門的知見と分析に基づいています。上記分析を補完するため、IOSCO は業界関係者とのラウンドテーブルを主催し、また、CRA 各社との議論を行いました。

本報告書は、以下の 4 つの主要なアセット・カテゴリーにおいて、メソドロジーの変更、パンデミック中に行われた格付アクションに対するメソドロジーの適用、GSM の終了が信用格付とメソドロジーに及ぼす影響をレビューすることを通じて、GSM が信用格付とメソドロジーに及ぼしたと見られる影響の概要を記載しています。

- ・ソブリン
- ・金融機関
- ・非金融企業
- ・ストラクチャード・ファイナンス

結論としては、CRA のメソドロジーに重大な変更は見られませんでした。また、GSM の影響が格付けの判断に重大な影響を及ぼした場合は、通常、開示により当該 GSM の影響について説明されています。

レビュー結果は、CRA が信用格付においてパンデミックと経済的ショックの影響を考慮したことを示しており、また、GSM が信用格付の引き下げ圧力を緩和する上で重要な役割を果たしたことを示唆しています。もっとも、CRA によれば、GSM の長期的な有効性については、現時点で完全に評価・測定することはできないとされています。

CRAが設定する将来に関する前提は、GSMの段階的終了が可能になる程度に経済環境が安定するまでGSMが継続する、というものです。特に新興国におけるGSMの早期終了リスクは、パンデミック後の世界経済の回復に対するダウンサイド・リスクの一つです。

本報告書は、COVID-19の健康危機の影響が2021年において引き続き展開していることから、信用格付と信用格付メソドロジーに関するGSMの影響を引き続き検討することが重要と結論づけています。

(Note to the Editor は省略)

(以 上)